

関係各位

平成24年9月28日

「東日本大震災の記憶と復興」展 実行委員会

## 日本橋『東日本大震災の記憶と復興』展の開催

平成24年10月2日（火）～11月30日（金）



会場：東京都中央区日本橋室町1-3  
東京メトロ三越前駅コンコース（国道4号地下歩道）

〔主催〕「東日本大震災の記憶と復興」展 実行委員会  
〔協力〕（社）日本道路協会、（社）東北建設協会、（社）関東建設弘済会、  
名橋「日本橋」保存会

全国の街道の起点、道路の起点「日本橋」は昨年2011年に現在の石造りの橋になって100年を迎えました。4月の架橋記念日直前の3月11日に東日本大震災が発生したことにより、記念事業を延期、地区住民が一体となって被災地の支援活動に取り組みました。

未曾有の大災害からおよそ600日余りが過ぎましたが、各地に地震・津波の痕跡が残り、復興ははじまったばかりです。このような大災害は二度と起きてほしくはありませんが、首都直下地震や連動地震が懸念されている今、わが国で地震や津波による災害の歴史がくり返されてきたことを忘れてはならないと思います。事実を風化させることなく、今次災害への対応や復興の現況を伝え、今後の被害軽減にもつながるよう、多くの皆様とともに考える機会として「東日本大震災の記憶と復興」展を開催いたします。

### <主な展示物>



津波の痕跡を残す被災物の首都圏初展示



津波被災前・後 写真パネル



「被災地はいま」と題した被災地域の復興活動の紹介パネル

## ◆展示内容

- ①南三陸町、女川町、気仙沼市などの津波被災前・後写真
  - ②陸域観測技術衛星『だいち』による陸前高田市～大船渡市などの津波浸水状況の衛星画像（床敷タイプ）全長約10m
  - ③東日本大震災の被災物（道路標識、時計、他）
  - ④東日本大震災時復旧活動のパネル
  - ⑤被害想定や地震・津波対策など首都直下地震に関するパネル
  - ⑥気仙沼市や福島市など被災地域の復興活動紹介パネル
  - ⑦日本橋地区、他の復興支援活動紹介パネル
- ※一部展示物については、10月9日からスタートする国際通貨基金・世界銀行総会関連イベントにあわせて、英文の説明パネルも掲出する。
- ※1964年に東京で開催された総会など、これまで発行された国際通貨基金・世界銀行年次総会記念切手を展示する。なお、前回わが国で開催された総会は、戦後復興をアピールする目的で開催。今回の総会は震災からの復興を世界にアピールするために誘致されたという。（協力：逓信総合博物館）

## ◆主催

「東日本大震災の記憶と復興」展実行委員会  
（実行委員長：森地 茂 特定非営利活動法人全国街道交流会議会長、  
政策研究大学院大学特別教授）

## ◆協力

（社）日本道路協会、（社）東北建設協会、（社）関東建設弘済会、  
名橋「日本橋」保存会

## ◆企画

特定非営利活動法人全国街道交流会議

## ◆後援

国土交通省東北地方整備局、国土交通省関東地方整備局、東京都建設局、  
中央区

### [問合せ先]

「東日本大震災の記憶と復興」展 事務局  
特定非営利活動法人 全国街道交流会議  
（担当：古賀）

TEL：092-894-1511

FAX：092-894-1515

e-mail info@kaido-kaigi.com